

作・演出：逢坂 勉

ショウと感動ストーリーでつづる

新・美空ひばり物語

"不死鳥ふたたび"ニューバージョン

ゼネラルプロデューサー：加藤和也 クリエイティブプロデューサー：中澤希六

最高の娯楽作品、そして完璧な文芸作品

全国のファンの皆様お待ち望んで、さらに日本人の心を熱くする！

感動を呼ぶ！
喝采が続く！



加藤喜美枝役
浅利香津代

加藤増吉役
浜田光夫

美空ひばり役
浅茅陽子

雪村いづみ役
雪村いづみ

2002 **11/15** 金

午後6時30分開演

たんば田園交響ホール

◆入 場 料／一般：6,500円《全席指定》
団体(10名以上)：6,000円

◆主 催／篠山市
◆協 賛／篠山市連合婦人会
◆お問い合わせ／たんば田園交響ホール

TEL(0795)52-3600 FAX(0795)52-3646
E-mail: denen@city.sasayama.hyogo.jp
URL/http://www.city.sasayama.hyogo.jp/denen/index.html

篠山市内 (0795)

- | | | | |
|----------|----------|-------------------|----------|
| ●小山書店 | ☎52-0019 | ●黒豆の館 | ☎90-8077 |
| ●森本書房 | ☎52-0125 | ●JA丹波旅行センター | ☎94-3090 |
| ●木下楽器 | ☎52-0321 | ●うかいや書店(篠山店) | ☎90-1025 |
| ●サワヤマ楽器 | ☎52-2019 | ●NEWS篠山総合サービスセンター | ☎94-3700 |
| ●みずほトラベル | ☎52-4488 | ●今田公民館 | ☎97-2255 |

氷上郡内 (0795)

- | | |
|-----------|----------|
| ●柏原観光案内所 | ☎73-0303 |
| ●丹波の森公苑 | ☎72-5170 |
| ●春日町文化ホール | ☎74-1050 |

三田市内 (0795)

- | | |
|------------------|----------|
| ●三田サティ3Fサービスコーナー | ☎64-2121 |
| ●阪急オアシスえるむプラザ店 | ☎65-1148 |

プレイガイド

新・美空ひばり物語

不死鳥ふたたび・ニューバージョン

懐かしの歌声をたっぷり聞かせる
華麗なショウ。

波乱万丈の生涯をつづる
感動的な物語。



昭和63年、東京ドーム。ひとりの歌手が、花道に足を踏み出そうとしていた。病を克服し奇跡のカムバックを果たした復帰第一歩であると同時に、これまで何度となく彼女に訪れた全ての苦難に打ち勝ったことの証となる第一歩であった。復帰を待ち望んだ5万の大観衆で埋まった東京ドーム。その姿は、まさに不死鳥そのものであった。



ひばりさんにもう一度会いたい...

マスコミも絶賛!

主役の浅茅陽子が美空ひばりと錯覚するほどよく似ている。歌う場面はひばり本人の声、顔もパネルで大写しになる。今も目の前にいるような感じがした。これはファン必見のひばり賛歌だ。
(読売新聞)



心に焼き付いた思い出の名場面、
生きる喜びを与えてくれた名曲とともに
今、ひばりさんが蘇ります。

STORY

戦後まもない横浜。ひとりの少女の歌声が、近所の人々の注目を集めていた。少女の名は加藤和枝。その並はずれた歌唱力は天才少女の名をほいままにした。昭和22年、和枝は美空ひばりと名乗り、本格的な芸能活動を始め。青春時代の輝きを放ち始めたひばりは、押しも押されぬ大スターへと成長する。雪村いづみとの出会い、華々しい三人娘時代、マスコミを賑わせた数々の青春ロマンス、美空ひばりの輝かしくも最も明るい時代であった。しかし、昭和38年、歌の才能を与えたとされた父・増吉が永眠する。そして、最愛の父の死を乗り越えたひばりは、「柔」でレコード大賞を受賞し、名実共に歌謡界のトップに登り詰めた。その後も順調に活動を続けていたひばりであったが、いつもひばりの「影」となって支えてきた母・喜美枝が病に臥し、芸能生活35周年を記念した武道館のリサイタルを見届けた翌月、



静かに息をひきとった。母亡きあと支えとなった弟・哲也を襲う不幸。耐えがたい孤独の中で、ついにはひばりの身にも忍び寄る病魔。大腿骨骨頭壊死。病と闘うひばりの脳裏を、ひとつの思いが駆け巡る。
「もう一度歌いたい」...



ゼネラルプロデューサー.....加藤和也
クリエイティブプロデューサー.....中澤希六

作・演出.....逢坂 勉
音楽監督.....津島利章
美術.....根本研二
洋舞振付.....名倉加代子
日舞振付.....若柳禄寿
「お祭りマンボ」振付.....松原貞夫
照明・映像.....三上良一
音響.....小幡 亨
衣裳.....小峰リリー／菊田光次郎
メイクアップデザイナー.....馮 啓孝
演出助手.....高野克己
舞台監督.....栗飯原和弘